

# 図書館だより

2019年  
9月号

2019年9月6日発行

長い梅雨の後にいつもより遅れてやってきた令和初の夏。去年のような猛暑にはならないでほしいと思っていましたが、今年も暑い暑い夏でしたね。みなさんはどんな夏休みを過ごしましたか。暑さに負けず、楽しい思い出をたくさん作ることができたでしょうか。2年生は修学旅行でも様々な思い出ができたことでしょう。

さて、まだ夏休みの気分が抜け切っていない人もいるかもしれませんが、来週末は桔梗祭です。準備は着々と進んでいるでしょうか。最近では桔梗祭が年々賑やかにパワーアップしているように感じ、今年のステージ発表にも教室での催しにも模擬店の品々にも期待が膨らみます。今年もみなさんと桔梗祭を盛り上げていきましょう。

3年生は夏休み前から受験に向けて志望理由書を書いたり、小論文の練習をしたりと文章を書く時間が増えているかと思いますが、図書館にはそうした関連の本も揃えていますので、役立ててください。



## \*桔梗祭の準備で忙しい体に栄養補給\*

### 596-ヤ『野菜いっぱい簡単お弁当』 セブン&アイ出版

みなさんの学校生活を陰から支えてくれている存在とも言えるお弁当。最近はコンビニなどのお弁当やサンドイッチも種類が豊富でおいしいですが、毎日食べても飽きのこない味なのは手作りのお弁当です。このお弁当のレシピ本には、いくつかポイントがあります。野菜がたっぷり使われていること、彩りと栄養バランスがよいこと、冷めてもおいしいこと、手早く作れること、などを踏まえてお弁当のレシピが考えられています。もちろん肉や魚などのメインもしっかりと入っており、どのお弁当も食べ応え十分です。おいしいお弁当でパワーをチャージして、残暑を乗り切りましょう。

## \*小論文のコツを掴む\*

### 816-イ『小論文の超書き方講座』 石橋 知也 || 著 エール出版社

「小論文」と聞くだけで苦手意識を感じ、「書けない」と消極的になってしまい、なかなか練習がはかどらない。論文に対するそんな心のハードルを下げてくれる本です。「でも、本を読むこと自体が苦労なんだよな」と思う人もいるかもしれませんが、見開き1ページで要点をわかりやすくまとめてあるので、よく理解できます。小論文と作文は何が違うのかという基礎の基礎から始まり、イメージしやすい身近な例えを使った書き方のポイントや失敗例を用いた注意点の解説、オリジナル性のおし方や学部別の小論文の書き方についてなど、内容も充実しています。

## ♪今年も桔梗祭にて、おはなし会を開催します♪

今年は『朗読乙女の夢みるダンス』をテーマに発表作品を選びました。絵本や詩歌、英語を使った発表など盛りだくさんの内容でお送りします。2日目には参加体験もありますので、一緒に声を出して楽しんでください。

★9月14日(土) 11:10~ 桔梗ホール

★9月15日(日) 11:45~ 図書館



## 🍎はらぺこあおむしが50周年を迎えました🍎

世界中で愛されている『はらぺこあおむし』の絵本が出版されて今年で50年目を迎えます。子どもの頃この絵本がお気に入りだったという人もきっとたくさんいることでしょう。図書館には、通常版の他、大型版、英文対訳なども揃っています。何度も読んできた人は懐かしい気持ちに浸りながら、初めて読む人は小さなあおむしの食欲に驚きながら、楽しんで読んでみてください。ひさしぶりに読んでみると、「大人になってから読む絵本もいいものだ」と思えるはず。

### E-カ『英語でもよめる はらぺこあおむし』 エリック・カール || さく 偕成社

生まれたばかりの小さなあおむしは、ぺっこぺこのおなかを満たすため、月曜日はりんご、火曜日はなし、水曜日はすもも、毎日もりもりと食べていきます。リズムよく並ぶ言葉、カラフルな色づかい、めくるのが楽しくなるページの構成と、色々な工夫がされており、何度読んでも飽きることのない絵本です。日本語の下に英文の対訳がついており、2つの言葉で読み比べもできます。読み慣れた物語も英語で読むと、また違った味わいが出てきて新鮮です。

## 📖図書館司書の「今月はこの本を読みました」📖

夏休みに読む本を選んでいる時に、目に留まったのが『正義の教室』(158-ヤ 飲茶 || 著 ダイヤモンド社)でした。「正義とは何か」ということを、とある高校に通う生徒会のメンバーたちが倫理の授業を通して考えていくストーリー仕立てになっています。それぞれの信念を持って、「正義」とは、「正しい」とは、こういうことだ!と考える高校生たちと、その考えを揺るがしてくる倫理の先生。自分の考える正義が、必ずしも他者の考える正義と一致するとは限らない。では、どちらが正しいのか。正しさは何によって判断できるものなのか。そうしたやりとりを読んでいくうちに、読んでいる自分の中にも自然と色々な疑問や考えが芽生えてきます。「倫理の勉強をしましょう」というと身構えてしまうけど、物語にして読んでみると、おもしろいものですね。思いもよらない展開が待つラストシーンは賛否が分かれると思いますが、あの結末をどう捉えるか、自分自身にも周囲の人にも問いかけてみたくなりました。【今井】

## ★先生がプロデュース!! 今月の展示★

今月の展示は…、**守谷真依 先生** がプロデュースです😊

展示のテーマは…、【 **自分の世界を飛び出す本** 】

幼い頃から現在まで、旅行や留学など海外に行く機会に恵まれ、その経験から多くのことを学びました。大学でフランス語を専攻し、英語教員として働いているのも、海外での楽しい(だけではない)出会いや思い出のおかげです。

日本にいてテレビを見ているだけではわからない世界の本当の姿。まずは本を通じて触れてみませんか？そしていつか本物を見に、日本を飛び出してみてください！

### ◆展示本リスト◆

B914.6-オ	『ニューヨークのとけない魔法』	岡田 光代    著	文藝春秋
293-イ	『人生はどこでもドア リヨンの14日間』	稲垣 えみ子    著	東洋経済新報社
293-タ	『神秘の島に魅せられて モン・サン・ミッシェルと近郊の町へ』	浜口 謙司    著	イカロス出版
596-カ	『日曜日はプーレ・ロティ ちょっと不便で豊かなフランスの食暮らし』	川村 明子    著	CCCメディアハウス
596-ニ	『世界ぐるっと朝食紀行』	西川 治    著	新潮社
290-ス	『世界をたべよう! 旅ごはん』	杉浦 さやか    著	祥伝社
	…食を通じて知る文化、社会、その国の人々…「美味しい」だけではない様々な味の記録たちです。		
916-セ	『職業は武装解除』	瀬谷 ルミ子    著	朝日新聞出版
699-セ	『世界の国境を歩いてみたら…』	河出書房新社	
	…島国に住む我々にはあまりなじみのない国境。そこにはどんな世界が広がっているのでしょうか。		
B689-デ	『ディズニー五つの王国の物語』	有馬 哲夫    著	宝島社
B953-ヴ	『八十日間世界一周』	ジョージ・ヴェルヌ    著	東京創元社

この中でも、いちおしなのは…



### 596-ニ 『世界ぐるっと朝食紀行』 西川 治 || 著 新潮社

書店で表紙買いをして、ぼろぼろになるまで読み返しています。ホテル、カフェ、バザール、草原、世界のあちこちで食べた個性豊かな朝食の記録の数々。読みながら「それ、食べたい…！」と何度思ったことか。私自身は朝食を食べない派なのですが、旅行に行くと食べたくなるんですよ…。

## 本で振り返る平成の30年

2学期は平成12年から時代と本を振り返っていきましょう。平成12年は西暦に直すと2000年、ミレニアムの年でした。沖縄サミット(第26回主要国首脳会議)が行われ、これを記念した二千円紙幣が発行されました。二千円札は今も流通していますが、みなさんは手にしたことがあるでしょうか。

この年のベストセラー(トーハン調べ)の第1位は、『だから、あなたも生きぬいて』(大平光代 || 著 講談社)です。弁護士として活躍する著者が自身の壮絶な半生と、そこから這い上がり弁護士となるまでが書かれたこの本は何度読んでも衝撃的です。第2位には男脳と女脳の謎を解いた『話を聞かない男、地図が読めない女』が、第3位には『ハリー・ポッターと賢者の石』、『ハリー・ポッターと秘密の部屋』がランクイン。世界的ベストセラーとなったハリー・ポッターシリーズの第1巻、第2巻です。子どもだけでなく、大人も夢中にさせるファンタジー小説であり、今もその人気は衰えていません。

翌年の平成13年(2001年)は21世紀の幕開けの年でした。アメリカで起きた同時多発テロが世界中に大きな衝撃を与えた年です。国内では、東京ディズニーシーが開園しました。この年の第1位はビジネス書『チーズはどこへ消えた』です。続いて、シリーズ第3作目となる『ハリー・ポッターとアズカバンの囚人』が前年第3位の1、2巻と共に第2位となっています。注目したいのは18位の今も多くの著書を出している教育学者の齋藤孝さんが書いた『声に出して読みたい日本語』です。声に出して読むことで、日本語の美しい響きを身体で感じながら、日本語力を身に付けられると、話題になりました。

### 143-ア 『話を聞かない男、地図が読めない女』 アラン・ピーズ/バーバラ・ピーズ || 著 主婦の友社

男と女が精神的にも身体的にも根本から違うことを、科学的見地から解き明かした本。そう言われると、難しく感じますが、「女は他人の感情の動きに敏感であるが、男は鈍感である」、「女はストレスがたまるとしゃべり続けるが、男は黙ってこってしまう」、「女が相手に問いかけをする時、実はもう本人の答えは決まっている」など、自分にも思い当たることのあるような日常の色々なシーンを例に出して、男女の違いがどうして生じるのかを説明してくれています。お互いの特徴を上手く掴めたら、異性に対して「どうしてわかってくれないんだ！」と憤ることも減り、よい人間関係を築けそうです。

### 809-サ 『声に出して読みたい日本語』 齋藤 孝 || 著 草思社

ただ「読む」のではなく、「声に出して読む」ことを前提にして、選出された様々な日本の名文、名文句が載っています。『平家物語』の「祇園精舎の鐘の声」や『枕草子』の「春はあけぼの」など馴染みのあるものだけでなく、詩吟や狂言、能など、普段触れる機会がなかなかないものからも幅広く選ばれており、現代まで伝承されてきた日本の文化や文学を知るためのよいきっかけにもなります。文字を目で追うだけでは感じられない日本語が持つ音の魅力を、声に出して読むことで響きやテンポを楽しみながら感じてみてください。